



まなび舎

東京都立港特別支援学校長



岡戸 良雄

No. 5

「暑さをしのぐ」

校長 岡戸 良雄

7月を迎えて暑い日が続きますが、本通信を御覧の皆様はいかがお過ごしでしょうか。本校においては昨年度より各教室に窓取り付けエアコンを設置して暑熱対策を行っております。エアコンを設置ができない箇所（体育館など）は冷風扇を複数台設置して体調を崩さないように留意しております。

体育や作業学習などの屋外での活動においては熱中症発生の可能性を確認して活動の可否を判断しております。その際判断基準になるのが WBGT 測定器です。

また、熱中症とともに注意すべき自然災害として「落雷」があります。気温の上昇とともに天候が不順となり急なゲリラ豪雨、落雷の発生する可能性が近年高まってきております。そのため、屋外で活動する際に落雷が予想されるとアラームで通知する機器も配備されています。他県ではありますが、落雷による部活動中の事故も発生しておりますので、本校においても検知機器にプラスして、気象庁発表の情報などを逐次確認して、安全に教育活動が行えるように努めます。

東日本大震災から14年が経ちました。能登半島地震から2年経ちました。今なお復興の途中であり、被災地の皆様の御苦労は如何ばかりかと思えます。首都東京においてこのような災害が発生した時、港特別支援学校での避難訓練で経験した知識や技能が生徒一人一人に生かされるように日々の避難訓練を行っています。

14年前の東日本大震災、2年前の能登半島地震の状況を見て、再び思い出したことがあります。災害が起きるまでは、蛇口をひねればあたりまえのように水が出ること、街中には自動販売機があり、冷たい飲み物がいつでも手に入ること、深夜であっても自分が欲しいものを購入できるコンビニエンスストアがあることなど、私自身もごく当たり前の「日常」があって当然のことと感じていました。しかしながら、私たちが感じている「日常」は当たり前に存在するのではなく、この「日常」を維持するために様々な人々の不断努力が必要であり、提供されることで維持されているということです。

エネルギー消費のピークを抑えることや、教職員の働き方に関する取り組みとして、都立学校全校で夏季休業日中に学校閉庁日を設けております。本校では8月12日（火）から19日（火）までを閉庁日とします。この間教職員は出勤しませんので、各種証明書などが必要な場合には、前もって申請をしてください。ただし、生徒に関する緊急の連絡は、学校携帯までお願いします。（学校から保護者の皆様に連絡がある場合には、Classiにてお伝えします。）皆様の御協力をお願いします。



学校からのお知らせ

【保護者の皆様へお願い】

平日 17 時から翌朝 8 時 25 分までは留守番電話対応となります。また、以下のとおり学校閉庁日を設定します。

学校閉庁日 8月12日（火）から8月19日（火）まで ※経営企画室の業務も行っておりません。

緊急対応を要する場合は、役所・警察・消防など専門機関への御連絡をお願いします。

また、必要に応じて学校携帯にも御連絡ください。 学校携帯 080-4781-4317

「進路指導部の取り組み」

主幹教諭 吉田 武

本校の進路指導部の取り組みの特色に「進路学習プログラム」があります。保護者の方向けに進路情報を系統的に学んでいただくもので、1 学期には、1 年生を中心に「進路のいろは」や、全学年を対象に「各区・福祉施設利用等に関する説明会」を実施しました。今後は、「保護者向け企業見学会」や PTA 共催の「進路講演会」などを予定しています。その都度お知らせを配布いたしますので、ぜひ御参加ください。